

授 業 科目名	企業法特論（国際取引法）	選 択	開講年次	3	単位数	2
科目区分	専門科目					
サブ タイトル	貿易の仕組みを理解する	担当者	花村 征志			
講義概要	<p>【概要】</p> <p>私たちは、天然資源の乏しい日本は「加工貿易」を産業の中心としている国である、とイメージしているのではないのでしょうか。しかし、実際は、市場規模の大きさから、これまで国内需要に依存してきた大企業やそれに付随する中小企業は多かったのです。ところが、昨今の国内市場の低迷や縮小、逆に海外市場の活況や拡大という状況から、中小企業であっても、自ら輸出を行い、また海外現地生産を行うに至っています。この授業では、物品を中心に、輸入や輸出の仕組みを概説します。</p> <p>【到達目標】</p> <p>この授業では、条文解釈というよりは、貿易の仕組みの理解、それに、通関士資格の取得までは難しいとしても、卒業後に貿易にたずさわするのに必要な最低限の知識の習得を目標とします。</p>					
履修条件	特に設けません。ただ、国際私法は、複数の国の法に関わる事項を対象とする科目ですから、履修することを強く薦めます。					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】</p> <p>特に指定しません。</p> <p>【参考書】</p> <p>特に指定しません。</p>					
授業回数	内容					
1	物品の輸出入概観					
2	渉外的契約の締結と準拠ルール					
3	契約条項（1）					
4	契約条項（2）貿易条件とインコタームズ					
5	輸送・保険					
6	決済－送金とLC					
7	輸出入実務（輸送委託、通関手続き）					
8	紛争の解決、輸入者の責任					
9	並行輸入					
10	海外事業展開の方法と問題の所在					
11	技術提携、合併、現地法人の設立					
12	利益の還元と税制					
13	国際的枠組み（1）GATT、WTO					
14	国際的枠組み（2）2国間協定					
15	国際的枠組み（3）多国間協定					
評価方法	小テスト(原則として、前週の授業内容について次週に実施)を総合して評価します。なお、授業中の態度等も考慮する場合があります。					
評価基準	上記授業単元の内容について、貿易の仕組みを全体的によく理解した者を「A」、それに至らないものの概略を理解した者を程度に応じて「B」又は「C」、単元の内容の理解が不十分な者又は理解できていない者を「D」又は「E」とする。					
その他	特になし					